

美学から考える

30th Design Fundamentals Seminar

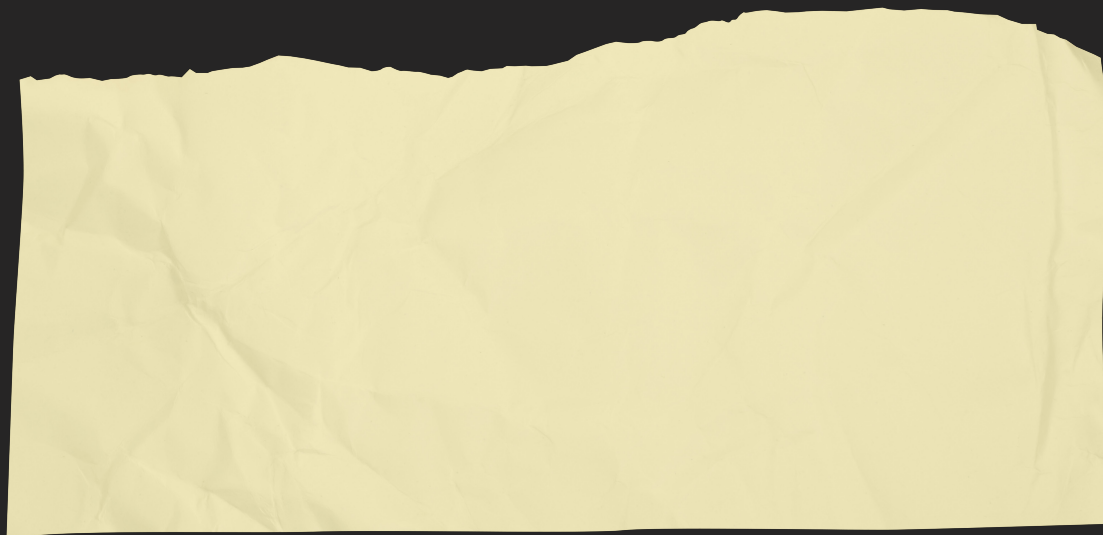
美学（感性論）の仕事が、自分と異なる人・もの・自然との協働から新たな感性を発見・言語化することだとすれば、そこでは協働の「場」が生まれています。こうした場、さらにはそのデザインについて、美学の立場から考えてみたいと思います。

日時 | 2024/7/24 (水) 18:00-20:00

会場 | 九州大学・大橋キャンパス

デザインコモン2F + オンライン

*参加ご希望の方は QR コードよりお申し込みください。



講師 | 秋庭史典（名古屋大学大学院・教授）

1966 年、岡山市生まれ。専門は美学。京都大学大学院文学研究科博士後期課程修了（美学美術史学）、博士（文学）。現在は、未来社会における幸せとは何か、そのために美学や芸術学は何ができるかという視点から研究を行っている。主な著書に『絵の幸福 シタラトモアキ論』（みすず書房、2020 年）、『あたらしい美学をつくる』（みすず書房、2011 年）など。



主催 | 九州大学大学院芸術工学研究院・デザイン基礎学研究センター
共催 | 九州大学芸術工学部芸術工学科・未来構想デザインコース

九州大学



大学院芸術工学研究院
大学院芸術工学府
芸術工学部

Faculty of Design
Graduate School of Design
School of Design
Kyushu University



未来構想デザイン
Design Futures



デザイン基礎学
研究センター
Center for
Design Fundamentals Research

「場」とそのデザイン